HITACHI

企業向けネットワーク WAN ルーター
（Cisco 1000/Cisco Catalyst 8200）

ユーザーズガイド

マニュアルはよく読み、保管してください。
操作をおこなう前に安全上の指示をよく読み、十分理解してください。
このマニュアルはいつでも参照できるよう、手近なところに保管してください。

〈お客様各位〉

初めにお読みください！

この度は、企業向けネットワーク WAN ルーター（Cisco 1000 シリーズ/Cisco Catalyst 8200 シリーズ）(以下、企業向けネットワーク WAN ルーター（Cisco 1000 シリーズ/Catalyst 8200 シリーズ）と略します)をご購入いただき、まことにありがとうございます。
このマニュアルは企業向けネットワーク WAN ルーター（Cisco 1000 シリーズ/Catalyst 8200 シリーズ）のご使用にあたって、トラブルを避けるために、また安全にお使いいただくために注意事項を記述しています。よくお読みになった後は、本マニュアルを大切に保管し有効にご利用ください。

重要なお知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載したり、複写することは固くお断わりします。
- 本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本製品の信頼性について

ご購入いただきました企業向けネットワーク WAN ルーター（Cisco 1000 シリーズ/Catalyst 8200 シリーズ）は、一般事務用を意図して設計・製作されています。
生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。
このような使用に対する万一の事故に対し、当社は一切責任を負いません。

一般事務用システム装置が不適当な、高信頼性を必要とする用途例
・化学プラント制御　・医療機器制御　・緊急連絡制御　等

規制・対策などについて

■電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

■電源の瞬時電圧低下対策について

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

■高調波電流規格：JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性―第 3-2 部：限度値―高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

■雑音耐力について

この装置の外来電磁波に対する耐力は、国際電気標準会議規格 IEC61000-4-3「放射無線周波電磁界イミュニティ試験」のレベル 2 に相当する規定に合致していることを確認しております。
なお、レベル 2 とは、対象となる装置に近づけないで使用されている低出力の携帯型トランシーバから受ける程度の電磁環境です。

■輸出規制について

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明の場合は当社担当営業にお問い合わせください。

なお、この装置に付属する周辺機器やプレインストールされているソフトウェアも同じ扱いになります。

■装置の廃棄について

事業者が廃棄する場合、廃棄物管理表（マニフェスト）の発行が義務づけられています。
詳しくは、各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。廃棄物管理表は（社）全国産業廃棄物連合会に用意されています。
個人が廃棄する場合、お買い求め先にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則にしたがってください。

登録商標・商標について

本マニュアル中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。
Cisco、Cisco Catalyst、Catalyst は、米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc. およびその関連会社の商標です。

版権について

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部
または全部を、無断で転載することは禁じられています。

Copyright© Hitachi, Ltd. 2025. All rights reserved.

安全にお使いいただくために

■安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分に理解してください。

・本製品の操作は、このマニュアル内の指示、手順にしたがっておこなってください。

・本製品やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。

これを怠ると、けが、火災や装置の破損を引き起こすおそれがあります。

■シンボルについて

安全に関する注意事項は、下に示す見出しによって表示されます。これは安全注意シンボルと「警告」および「注意」という見出し語を組み合わせたものです。

これは安全警告記号です。人への危害を引き起こす隠れた危険に注意を喚起するために用いられます。起こりうる傷害または死を回避するために、このシンボルの後に続く安全に関するメッセージにしたがってください。

これは、死亡または重大な傷害を引き起こすおそれのある危険の存在を示すのに用います。

これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある危険の存在を示すのに用います。

通知

これは、人身障害とは関係のない損害を引き起こすおそれのある危険の存在を示すのに用いられます。

本製品を活用するためのアドバイスを示すのに「補足」という見出し語を用いてあらわしています。

■操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作はおこなわないでください。

本製品について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、お買い求め先にご連絡いただくか保守員をお呼びください。

■自分自身でもご注意を

本製品やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。

それでも、予測を超えた事態が起こることが考えられます。

操作にあたっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

■対象機器の表記について

本マニュアルは Cisco 1000 シリーズ/Catalyst 8200 シリーズ　2 シリーズの製品について記載しておりますが、特定の機器のみが該当する注意事項もございます。

その場合は、次のように記します。

例：（対象製品　Cisco 1000 シリーズ）

何も表記がない場合は 2 シリーズすべての機器が該当する共通の注意事項になります。

注意	この機器は子どもがいる可能性のある場所での使用には適していません。

安全にお使いいただくために(続き)

⚠ 警告

異常な熱さ、煙、異常音、異臭

万一異常が発生した場合は、電源を切り、本製品のすべての電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると感電したり、火災の原因になります。

また、すぐに電源プラグを抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。

修理・改造・分解

■自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。特に電源内部は高電圧が数多くあり、万一さわると危険です。

挿抜できる構造のユニットについても抜かないでください。

■けがの危険を避けるもしくは減少するため、製品が不規則な環境状況にさらされた場合や製品が不当に扱われた場合、もしくは製品の一部でも破損している場合は、この製品を使用しないでください。専門知識のあるサービス担当者にご相談ください。製品を自分で修理することは絶対に避けてください。

本製品内部への異物の混入

通気口などから、内部にクリップや虫ピンなどの金属類や燃えやすい物を入れないでください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

ケースカバーの取り外し

■ケースカバーは取り外さないでください。

■ルーター内部にはお客様が保守できる部品はありません。筐体を開けないでください。

電源コンセントの扱い

■電源コンセントは接地形 2 極差込コンセントをご使用ください。そのほかのコンセントを使用すると感電や火災の原因になります。

■コンセントの接地極は、感電防止のために、アース線を専門の電気技術者が施工したアース端子に接続してください。接続しないと、電源の故障時などに感電するおそれがあります。

■コンセントは、活性導線（L:Line）、接地導線（N:Neutral）、接地（G:Ground）からなります。ご使用前に、接地導線と接地が同電位であることをご確認ください。

安全にお使いいただくために(続き)

⚠ 警告

電源コードの扱い

電源コードは必ず付属のもののみ使用し、次のことに注意してお取り扱いください。
取り扱いを誤ると、電源コードの銅線が露出したり、ショートや一部断線で加熱して、感電や火災の原因になります。

・傷つけない
・破損しない
・物を載せない
・引っ張らない
・押し付けない
・折り曲げない
・加工しない
・熱器具のそばで使わない
・ねじらない
・束ねない
・落下させたり衝撃を与えない
・釘やステープル等で固定しない
・分解・改造しない

AC アダプタ・電源コード破損時

■電源コードが破損した場合に、テープなどで修復して使用しないでください。修復した部分が過熱し、火災や感電の原因になります。

■AC アダプタやコードが変形したり、割れたり、傷ついている場合は、使用しないでください。発煙、発火、火災、感電、やけどの原因になります。

AC アダプタの扱い

■AC アダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや AC アダプタのコードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。

■AC アダプタに電源コードや接続ケーブルを巻き付けないでください。電源コードや接続ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、発煙、発火、火災、感電、やけどの原因になります。

AC アダプタの設置場所

■AC アダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。

■本製品の AC アダプタは屋内専用ですので、屋外で使用しないでください。雨水などがかかったり、ほこりなどの混入による、感電、故障の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために(続き)

⚠ 警告

本製品上に物を置く

■花ビン、植木鉢などの水の入った容器や虫ピン、クリップなどの小さな金属類を置かないでください。内部に入った場合、そのまま使用すると感電や発煙、火災の原因になります。

■ほかの装置の上にシャーシを積み重ねないでください。シャーシが落下すると、大けがをしたり、装置が損傷したりすることがあります。

可燃性の液体やガスの近くでの使用

マニキュア、ペディキュアや除光液など可燃性の液体やガスは、本製品の近くで使わないでください。本製品の中に入って引火すると火災の原因になります。

電源プラグの抜き差し

■電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持っておこなってください。電源コードを引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。

■長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
使用していないときにも通電されるため、万一、部品破損時には火災の原因になります。

■電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手でおこなってください。濡れた手でおこなうと感電の原因になります。

電源プラグの接触不良やトラッキング

電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。

■電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。

■電源プラグはほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。
付着している場合は、乾いた布などで拭き取り、差し込んでください。

■グラグラしないコンセントをご使用ください。

落下などによる衝撃

落下させたりぶつけるなど、衝撃を与えないでください。内部に変形や劣化が生じ、そのまま使用すると感電や火災の原因になります。

たこ足配線

同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。
コードやコンセントが過熱し、火災の原因になります。

安全にお使いいただくために(続き)

⚠ 警告

湿気やほこりの多い場所での使用

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。
電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。

温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。
結露した状態で使用すると発煙、発火や感電の原因になります。使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。

周辺機器の増設や接続

マニュアルで使用できることが明記された周辺機器・ケーブルをご使用ください。
それ以外のものを使用すると、接続仕様の違いにより周辺機器や本製品の故障、発煙、発火や火災の原因となります。

電源プラグへの接触について

雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないでください。
システムに手を加えたり、ケーブルの接続や取り外しをおこなったりしないでください。感電の原因になります。

電源コードについて

添付品の電源コードは交流 100V 用です。それ以外の電圧では使用しないでください。感電や火災の原因になります。交流 200V で本製品を使用する場合は本製品専用の 200V 用電源コードが必要です。
同梱されている電源コードは本製品専用の電源コードです。本製品以外の電気機器では使用できません。ほかの機器で使用すると火災・感電の原因になります。

作業時について

■感電事故を防ぐために、すべての電源コードを接続解除してから、作業を開始してください。
■電力系統に接続された装置で作業する場合は、事前に、指輪、ネックレス、腕時計などの装身具を外してください。金属は電源やアースに接触すると、過熱して重度のやけどを引き起こしたり、金属類が端子に焼き付いたりすることがあります。

機器の処分、交換について

本製品の最終処分は、各国のすべての法律および規制にしたがっておこなってください。
(ステートメント 1040)

安全にお使いいただくために(続き)

⚠ 警告

機器の設置について

■この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人がおこなってください。

(ステートメント 1030)

■ラックへの装置の設置や、ラック内の装置の保守作業をおこなう場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次のガイドラインを守ってください。

- ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックのいちばん下に取り付けます。
- ラックに複数の装置を設置する場合は、最も重い装置をいちばん下に設置して、下から順番に取り付けます。
- ラックにスタビライザが付いている場合は、スタビライザを取り付けてから、ラックに装置を設置したり、ラック内の装置を保守したりしてください。

(ステートメント 1006)

■設置手順を読んでから、システムを電源に接続してください。

(ステートメント 1004)

■設置を開始する前に、壁への取り付け手順をよくお読みください。 正しいハードウェアを使用しない場合、または正しい手順に従わない場合、人体に危険な状況が発生したり、システムが損傷したりする可能性があります。

(ステートメント 378)

■装置は地域および国の電気規則にしたがって設置する必要があります。

(ステートメント 1074)

■この装置は、立ち入りが制限されたエリアへの設置を目的としています。 アクセス制限エリアには、熟練者、指導を受けた者、または有資格者がアクセスできます。

(ステートメント 1017)

(対象製品　Catalyst 8200 シリーズ)

■指導を受けた担当者とは、熟練した担当者から指導および訓練を受け、機器を扱う際に必要な予防措置を講じている人のことです。

熟練者/有資格者とは、機器技術に関するトレーニングまたは経験があり、機器を使用して作業する際の潜在的な危険性を理解している人です。

(ステートメント 1089)

(対象製品　Catalyst 8200 シリーズ)

安全にお使いいただくために(続き)

⚠ 警告

機器の設置について(続き)

■本装置の設置、交換、修理は熟練者のみがおこなってください。熟練者の説明についてはステートメント 1089 を参照してください。

(ステートメント 1090)

(対象製品　Catalyst 8200 シリーズ)

■本装置の設置、交換、修理は、指導された人または熟練者だけがおこなえるようにしてください。熟練者の説明についてはステートメント 1089 を参照してください。

(ステートメント 1091)

(対象製品　Catalyst 8200 シリーズ)

電源ケーブルおよび AC アダプタについて

製品の設置に使用する接続ケーブル、電源コード、AC アダプタは、製品に付属しているもの、または指定のものをご使用ください。ほかのケーブルやアダプタを使用すると誤動作や発火が生じることがあります。

電気用品安全法（Electrical Appliance and Material Safety Law）により、シスコの指定製品以外の電気機器に UL 規格ケーブル（コードに「UL」と記載されているもの）を使用することは禁じられています。電気用品安全法で認定されたケーブル（コードに「PSE」と記載）の使用については、シスコ指定の製品に限定されません。

(ステートメント 371)

機器のメンテナンス・保守について

■システムの稼働中は、バックプレーンに危険な電圧またはエネルギーが生じています。作業をおこなうときは注意してください。

(ステートメント 1034)

■内部にはお客様が保守できる部品はありません。筐体を開けないでください。

(ステートメント 1073)

■ユニットの電源がオフであるかオンであるかに関係なく、危険なネットワーク電圧がインタフェースポートに存在する可能性があります。 感電を避けるため、保守をおこなう前に、接続されているケーブルはポートから取り外してください。

安全にお使いいただくために(続き)

⚠ 警告

レーザー光について

■クラス 1 レーザー製品です。

(ステートメント 1008)

■レーザー放射は目に見えません。光学機器の使用者にさらさないでください。

クラス 1/1M レーザー製品です。

(ステートメント 1055)

■切断されたファイバーまたはコネクタからは目に見えないレーザーが放射される場合があります。光線を見つめたり、光学機器を使って直接見たりしないでください。

(ステートメント 1051)

■終端されていないファイバケーブルまたはコネクタの端から、目に見えないレーザー放射が放射される場合があります。光学機器を使って直接見ないでください。特定の光学機器 (ルーペ、拡大鏡、顕微鏡など)を 100 mm 以内の距離で使用してレーザー出力を見ると、目に危険をもたらす可能性があります。

(ステートメント 1056)

■プラグ可能光モジュールは、2019 年 5 月 8 日付けの Laser Notice No.56 に記載されているように、IEC 60825-1 Ed.3 への準拠の例外の有無にかかわらず、IEC 60825-1 Ed.3 および 21 CFR 1040.10 および 1040.11 に準拠します。

(ステートメント 1255)

WAN ポートについて

装置の電源がオフであるかオンであるかに関係なく、危険なネットワーク電圧が WAN ポートに存在します。 感電を避けるため、WAN ポートの近くで作業する場合は注意してください。 ケーブルを取り外すときは、最初に本体から離れた端を取り外してください。

(ステートメント 1026)

使用場所について

バスタブ、洗面台、台所のシンク、洗濯機の周辺や、湿度の高い地下室、スイミングプールの近くなど、水のある場所の近くでは、この製品を使用しないでください。

(ステートメント 1035)

安全にお使いいただくために(続き)

⚠ 警告

電源端子について

電源端子には危険な電圧またはエネルギーが出ている場合があります。端子が使用されていない場合は必ずカバーを取り付けてください。カバーを取り付けるときに絶縁されていない伝導体に触れないことを確認してください。

(ステートメント 1086)

(対象製品　Catalyst 8200 シリーズ)

電源接続について

■この装置には複数の電源コードが取り付けられている場合があります。すべての接続を取り外し、装置の電源を遮断する必要があります。

(ステートメント 1028)

■感電や火災の危険を軽減するため、装置を電源回路に接続する際は、配線に過負荷がかからないよう注意してください。

(ステートメント 1018)

シャーシのアース接続について

■感電の危険を軽減するために、通常の使用中はこの装置のシャーシを恒久的な保護アースに接続する必要があります。

(ステートメント 0445)

■高い接触電流/漏洩電流 – 電気通信ネットワークに接続する前に、保護アースを恒久的に接続することが不可欠です。

(ステートメント 343)

■必ず銅の導体を使用してください。

(ステートメント 1025)

■この装置は、アースさせる必要があります。絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかはっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。

(ステートメント 1024)

■作業中は、カードの静電破壊を防ぐため、必ず静電気防止用リストストラップを着用してください。感電する危険があるので、手や金属工具がバックプレーンに直接触れないようにしてください。

(ステートメント 94)

安全にお使いいただくために(続き)

⚠ 警告

シャーシについて

■オン/オフ スイッチのあるシステムで作業をするときは、事前に電源をオフにし、電源コードを取り外してください。

(ステートメント 1)

(対象製品　Catalyst 8200 シリーズ)

■怪我またはシャーシの破損を防ぐために、モジュール（電源装置、ファン、またはカードなど）のハンドルを持ってシャーシを持ち上げたり、傾けたりすることは絶対に避けてください。これらのハンドルは、シャーシの重さを支えるようには設計されていません。

(ステートメント 1032)

(対象製品　Catalyst 8200 シリーズ)

遮断器について

この製品は、設置する建物にショート（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。保護装置の定格が 20 A 以下であることを確認してください。

(ステートメント 1005 - 遮断機)

ポート接続について

■装置が設置されている建物の外部に接続する場合は、認定された回線保護機能内蔵のネットワーク終端装置を介してポートを接続してください。

(ステートメント 1044 - ポート接続)

最大周囲温度について

火災や人身傷害の危険を軽減するため、推奨最大周囲温度を超える場所で装置を動作させないでください。

(ステートメント 1047 — 過熱防止)

(対象製品　Cisco 1000 シリーズ)

システムの過熱を防止するために、周辺温度が推奨されている最高温度の 40°Cを超える環境では使用しないでください。

(ステートメント 1047)

(対象製品　Catalyst 8200 シリーズ)

換気口について

空気の流れが制限されないように、換気開口部の周囲に少なくとも 4.4cm(1.75 インチ)の空間を確保してください。

(ステートメント 1076 — 換気口周囲の隙間)

（対象製品　Cisco 1000 シリーズ）

安全にお使いいただくために(続き)

警告

雷雨中の使用や保守について

雷雨中には、屋外に接続部がある機器の使用や保守をおこなわないでください。 落雷による感電の恐れがあります。

(ステートメント 1088)

カバーについて

■カバーは製品の安全設計に不可欠な部分です。 カバーを取り付けずにユニットを操作しないでください。

(ステートメント 1077)

■ブランクの前面プレートおよびカバーパネルには、3 つの重要な機能があります。シャーシ内の危険な電圧および電流による感電を防ぐこと、ほかの装置への電磁干渉（EMI）の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の冷気の流れを適切な状態に保つことです。システムは、必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーを正しく取り付けた状態で運用してください。

(ステートメント 1029)

安全にお使いいただくために(続き)

⚠ 注意

接続端子への接触

コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。感電の原因になります。

不安定な場所での使用

傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや故障するおそれがあります。

また、本製品を机上でご使用になる場合は、ほかの装置の上に本製品を置く、または本製品の上にほかの重量物を置かないでください。転倒によりけがや製品の故障原因になります。

目的以外の使用

踏み台やブックエンドなど、本製品本来の目的用途以外に使用しないでください。壊れたり倒れたりし、けがや故障の原因になります。

信号ケーブルについて

ケーブルは足などをひっかけないように配線してください。足をひっかけるとけがや接続機器の故障の原因になります。

地震対策について

地震などによる振動で本製品の移動、転倒あるいは窓などからの飛び出しが発生し、重大な事故へと発展するおそれがあります。これを防ぐため、地震・振動対策を保守会社や専門業者にご相談いただき、実施してください。

ラックマウント時の増設や交換

不慣れな作業をおこなうことにより、けがや本製品の故障の原因になります。本製品をラックマウントする場合やラックから取り外す作業はすべて保守員がおこないます。

静電気について

機器の安全のため、静電気防止用ストラップの抵抗値を定期的に確認してください。1～10 メガオーム(Mohm)の範囲にする必要があります。

機器の取り付けについて

■ルーターをテーブル上に取り付ける場合は、複数の企業向けネットワーク WAN ルーターを積み重ねないでください。

ルーターの側面や上部には物を置かず、空気循環と熱除去のための十分なスペースを確保してください。

安全にお使いいただくために(続き)

⚠ 注意

機器の壁取り付けについて

■企業向けネットワーク WAN ルーター（Catalyst 8200 シリーズ）を壁に取り付ける場合は、常にデバイスの側面が下向きになるように配置する必要があります。 I/O 側と電源入力側は、ファンの通気口とケーブルの入口が左または右を向くように配置する必要があります。 I/O 側も電源入力側も決して下に向けないでください。

(対象製品　Catalyst 8200 シリーズ)

本製品の上に物を置かない

本製品の上に 4.5kg(10 ポンド)を超える重量のものを置かないでください。また、机上に本製品を積み重ねないでください。4.5Kg を超える過度の分散重量、または上部に 4.5Kg の点荷重がかかると、シャーシが損傷する可能性があります。

AC アダプタの水濡れ

■AC アダプタを水や海水、ジュースなどでぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに AC アダプタをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。

■濡れた手で触らないようにしてください。

AC アダプタのお手入れ

■AC アダプタの電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に 1 回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

■本製品をお手入れする際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜き、電源を切ってからおこなってください。

本製品移動時の AC アダプタ

本製品を移動させる場合は、AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、おこなってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

AC アダプタ高温時の扱い

本製品を使用中や使用直後に AC アダプタが高温になる場合があります。やけどなどの恐れがありますので注意してください。使用中はできるだけ接触しないようにしてください。

落雷中のコード類の扱い

雷が鳴りだしたら、AC アダプタのコードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

安全にお使いいただくために(続き)

⚠ 注意

シャーシの設置について

シャーシの設置では、シャーシ冷却のために無制限のエアーフローを確保する必要があります。 装置を机上に置く場合は、冷却吸気口と排気口の横に少なくとも 1 インチ (2.54 cm) の空きスペースを確保してください。

(対象製品　Catalyst 8200 シリーズ)

ラックマウントキットの取り付けについて

ネジを締めすぎないでください。 推奨トルクは 15 ～ 18 インチポンド (1.7 ～ 2.0 N-m) です。

DIMM 取り外し取り付けについて

■DIMM を取り外したり取り付けたりするときは、常に静電防止用リストストラップを着用し、リストストラップが皮膚にしっかりと接触していることを確認してください。リストストラップの機器側をシャーシの金属部分に接続します。

(対象製品　Catalyst 8200 シリーズ)

■DIMM は端だけを持って扱ってください。 DIMM は ESD の影響を受けやすいコンポーネントであり、取り扱いを誤ると損傷する可能性があります。

(対象製品　Catalyst 8200 シリーズ)

USB フラッシュメモリモジュールについて

処理中のフラッシュメモリモジュールに対してファイルアクセスコマンドや読み取り/書込み操作を発行する場合は、USB フラッシュメモリモジュールを取り外さないでください。 ルーターがリロードされたり、USB フラッシュメモリモジュールが損傷したりする可能性があります。ルーターの前面パネルの USB アクティビティ LED が点滅しているかどうかを確認してから USB デバイスを取り外してください。

ネットワークインタフェースモジュール(NIM)について

正常にシャットダウンしてから NIM を取り外さないと、NIM カードが損傷する可能性があります。

(対象製品　Catalyst 8200 シリーズ)

安全にお使いいただくために(続き)

通知

屋外での使用

屋外では使用しないでください。故障の原因になります。

本製品の扱いについて

本製品は高密度で部品が実装されているため、不慣れな作業をおこなうことにより、けがをしたり本製品の故障の原因になります。本製品の交換などの必要がある場合はお買い求め先にご連絡いただくか、保守員をお呼びください。

本製品の廃棄

■事業者が廃棄する場合

本製品を廃棄するときには廃棄物管理表（マニュフェスト）の発行が義務づけられています。詳しくは、各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。

廃棄物管理表は、（社）全国産業廃棄物連合会に用意されています。

■個人が廃棄する場合

本製品を廃棄するときはお買い求め先にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則にしたがってください。

バックアップについて

本製品のコンフィグレーションデータや SSD に保存されたデータなどの重要な
内容は、必ず補助記憶装置や保存用メディア等にバックアップを取ってください。
本製品が壊れると、データなどがすべてなくなってしまうおそれがあります。

装置通気孔・付属ダクト

通気孔は内部の温度上昇を防ぐものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔を
ふさがないでください。内部の温度が上昇し、故障の原因になります。

信号ケーブルについて

ケーブルは足などをひっかけないように配線してください。足をひっかけると
ケーブルが抜けて大切なデータが失われるおそれがあります。
また、ケーブルの上に重量物を載せたり、熱器具のそばに配線しないでください。
ケーブル被覆が破れ、通信障害の原因になります。

ねずみ対策について

ねずみなどによるコンピュータシステムの被害として次のものがあります。

■ケーブル類の被覆の破損、断線

■機器内部の部品の腐食、接続不良、汚損

これを防ぐため、ねずみ対策を専門業者にご相談いただき、実施してください。

安全にお使いいただくために(続き)

通知

電源操作について

■電源操作は、決められた手順にしたがっておこなってください。

決められた手順に従わずに電源を入れたり切ったりすると、本製品の故障の原因になります。

■接続されている装置がすべて停止していることを確認してから電源を切ってください。動作中に電源を切ると、装置の故障やデータの消失のおそれがあります。

■シャットダウンまたはリブートまたは電源を切る場合で、それ以前にコンフィグレーション情報を変更した場合は、必ずコンフィグレーションをセーブしてから、電源を切ってください。コンフィグレーションセーブをおこなわないと変更部分が失われます。

静電気防止対策について

本製品の周辺で作業をする際は、安全のため、必ず抵抗値 1 メガΩの静電防止リストバンドを付けて作業してください。静電防止リストバンドのクリップは、通気孔に取り付けないよう注意してください。

静電防止リストバンドを付けずに作業をおこなうと、製品を壊す場合があります。

騒音について

本装置は、装置内部温度によってファンの回転数を制御しており、高温環境下での使用、高負荷環境が継続した場合、本装置の一部が故障した場合、および装置起動時は、一時的にファンの騒音が大きくなることがあります。そのため、ファンの騒音が問題になる場合は、あらかじめ専用室への設置など、お客様環境に応じた騒音対策を実施してください。

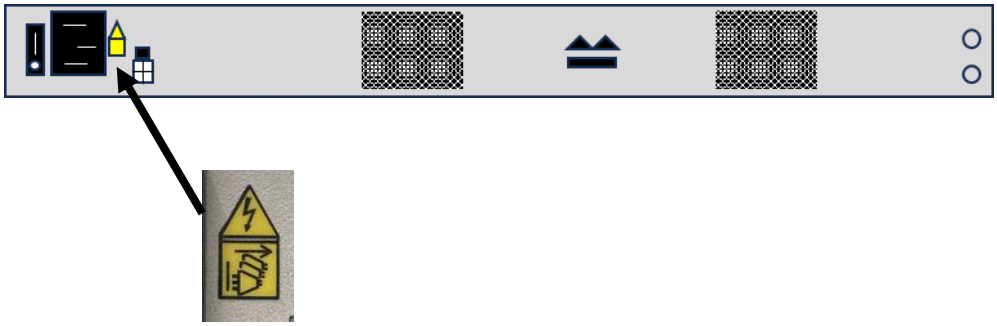
安全にお使いいただくために(続き)

■警告ラベルについて

警告ラベルは装置の次に示す箇所に貼り付けられています

(1) Catalyst 8200 シリーズ

背面

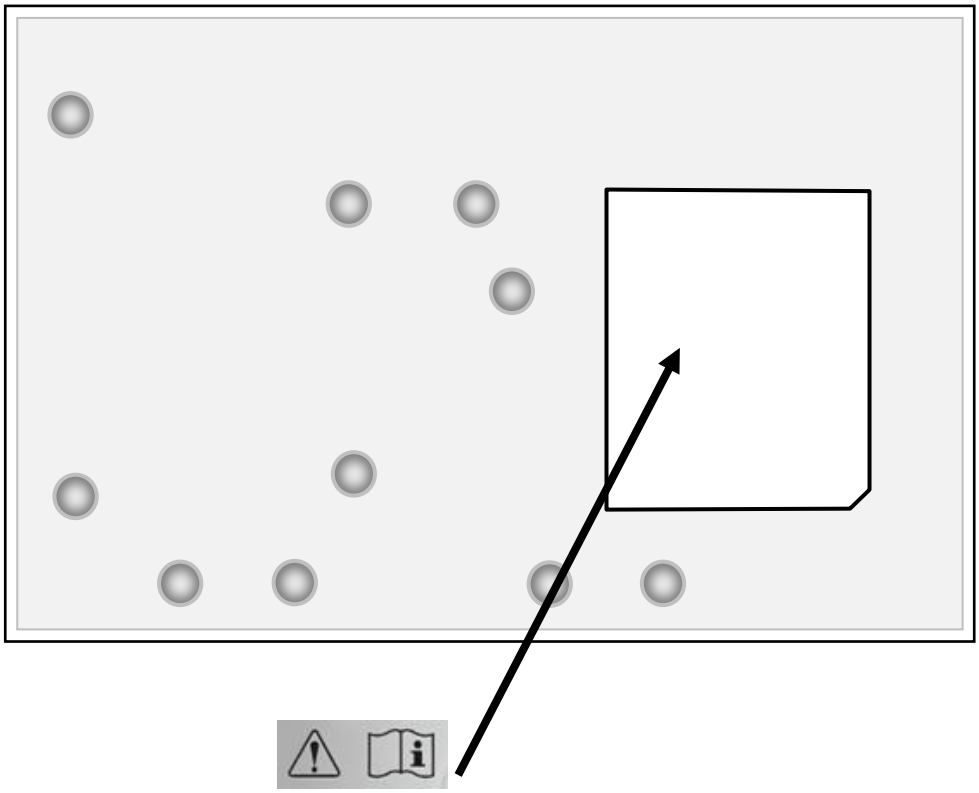


・感電危険

この装置には複数の電源コードが取り付けられている場合があります。感電の危険を減らすために、すべての電源コードを外してから整備してください。

※　日立では複数の電源接続構成に使われる Catalyst 8200 シリーズ用の AC アダプタを提供していません。

底面



・必ず「ユーザーズガイド」などのマニュアルをよくお読みいただいたうえでご使用ください。

目次

重要なお知らせ 1
本製品の信頼性について 1
規制・対策などについて 2
登録商標・商標について 3
版権について 3
安全にお使いいただくために 4
１　企業向けネットワーク WAN ルーター（Cisco 1000 シリーズ/Catalyst 8200 シリーズ）のマニュアルについて 25
２　注意事項 30
お問い合わせ先 33

補足 より良くお使いいただくために

補足

ネットワークケーブルの接続について

■本製品とシステム装置やハブ等のネットワーク機器を接続する際には、
指定事項、制限事項および注意事項を確認の上ご使用ください。
指定事項、制限事項および注意事項を考慮しなかった場合、ネットワーク環境全体の伝送能力に問題が生じるおそれがあります。

補足

光モジュールの取り扱いについて

光モジュールの光ファイバケーブル差込口に、ほこりやほかの汚れが付着しないように注意してください。ほこりが付着していると、正常に動作しない可能性があります。

補足

ライセンス管理について

ライセンス管理の詳細につきましては、下記 URL をご参照願います。
https://www.cisco.com/c/ja_jp/td/docs/routers/sl_using_policy/b-sl-using-policy.pdf

補足

コンフィグレーションのバックアップおよび機器交換時の作業分担について

自律モードでご利用の場合

コンフィグレーションのバックアップは必ずお取りください。バックアップがないと保守交換時にコンフィグレーションのリストアができません。

コントローラーモードでご利用の場合

表 0-1 にしたがってコンフィグレーションのバックアップや SD-WAN コントローラーの操作などをお客様にて実施してください。

コンフィグ回復時には、5-1、または 5-2 を実施いたします。5-1 を使用した手順が Cisco 推奨となっております。5-1 の手順を実施するためには、事前に各機器の Template を作成しておく必要がありますので、ご検討いただけますようお願いいたします。

表 0-1 コントローラーモード利用時の機器交換に伴う作業分担

項番	項目 (SD-WAN : cEdge の交換 - Cisco Community)	手順	対応者
1	XE SD-WAN : XE SD-WAN イメージと ROMmon の互換性 - Cisco Community	-	保守員
2	SD-WAN : cEdge のコンフィグのバックアップ - Cisco Community	CLI でおこなう方法 GUI でおこなう方法 : Running Configuration	お客様
3	SD-WAN : vEdge/cEdge を PnP Connect から削除する手順 - Cisco Community)	-	お客様
4	SD-WAN : cEdge を PnP Connect に登録する手順 - Cisco Community	実機を Plug and Play Connect に追加	お客様
5-1	SD-WAN : On-Site Bootstrap Process - Cisco Community	1. vManage へ PnP の情報を反映	お客様
		2. WAN Edge Cloud Certificate Authorization が Automated になっていることを確認	お客様
		3. 交換前の cEdge を vManage から削除	お客様
		4. Template を attach	お客様
		5. Generate Bootstrap Configuration	お客様
		6. Bootstrap Configuration のファイル名を変更 ※1 参照	お客様
		7. ファイル名を変更した Bootstrap Configuration を cEdge の bootflash 配下、もしくは、usb 配下に置く	保守員
		8. 交換後の機器に XE SD-WAN をインストール	保守員
5-2	SD-WAN : On-Site Bootstrap Process を実施できない場合 - Cisco Community	1. vManage へ PnP の情報を反映	お客様
		2. WAN Edge Cloud Certificate Authorization が Automated になっていることを確認	お客様
		3. 交換前の cEdge を vManage から削除	お客様
		4. 交換後の機器に XE SD-WAN をインストール	保守員
		5. username / password を設定	保守員
		6. コンフィグの投入	保守員
6	SD-WAN : Root 証明書のインストール - Cisco Community	1.コントローラーから Root 証明書の取り出し	お客様
		2.該当機器に Root 証明書をコピー	保守員
		3.該当機器に Root 証明書をインストール	保守員
7	状態確認	-	お客様

※1:

●policy の設定内に「vpg-log-server-acl」が含まれている場合、不具合の影響で Bootstrap Configuration ファイル「ciscosdwan.cfg」を機器に読み込ませることができません。

次は設定されている場合の表示例となります。

```
line con 0
 stopbits 1
!
line vty 0 4
!
line vty 5 80
!
policy
 app-visibility
 access-list vpg-log-server-acl
  sequence 5
   match
    destination-ip 1.1.1.1/32
    protocol       17
   !
   action accept
    count cipslog-vpn-100
    set
     local-vpn 100
    !
   !
  !
  default-action accept
 !
!
!
!
```

policy の設定

policy 内の「vpg-log-server-acl」が
が設定されている場合の表示例です。

次の手順で「ciscosdwan.cfg」を修正することで、「ciscosdwan.cfg」を読み込むことができます。

①「ciscosdwan.cfg」をメモ帳などで開きます。

②policy の設定をすべて切り取ります。※policy の位置の!も含めて、切り取ってください。

③sdwan の行より上にコピーします。

④保存します。

```
policy
 app-visibility
 access-list vpg-log-server-acl
  sequence 5
   match
    destination-ip 1.1.1.1/32
    protocol       17
   !
   action accept
    count cipslog-vpn-100
    set
     local-vpn 100
    !
   !
  !
  default-action accept
 !
!
sdwan
 interface GigabitEthernet0/0/1
  tunnel-interface
   encapsulation ipsec
   no allow-service bgp
   allow-service dhcp
   allow-service dns
   allow-service icmp
   no allow-service sshd
   no allow-service netconf
   no allow-service ntp
   no allow-service ospf
   no allow-service stun
   allow-service https
   no allow-service snmp
   no allow-service bfd
  exit
 exit
 interface VirtualPortGroup0
  access-list vpg-log-server-acl in
 exit
```

policy の設定をすべて切り取り、
sdwan の行より上にコピーします。

1　企業向けネットワーク WAN ルーター（Cisco 1000 シリーズ/Catalyst 8200 シリーズ）のマニュアルについて

企業向けネットワーク WAN ルーター（Cisco 1000 シリーズ/Catalyst 8200 シリーズ）のマニュアルはシスコシステムズ合同会社（以下、シスコ社）ホームページに掲載されています。詳細は各マニュアルを参照してください。なお、マニュアルにはシスコ社の製品名(Cisco 1121-4P/8P、Cisco 1121X-8P と Catalyst 8200-1N-4T/8200L-1N-4T)が表記されています。

（１）データシート

表 1-1 データシート

No	ルーター	データシート URL
1	Cisco 1000 シリーズ (Cisco 1121-4P/8P、 Cisco 1121X-8P)	Cisco 1000 シリーズ サービス統合型ルーターのデータシート https://www.cisco.com/c/ja_jp/products/collateral/routers/1000-series-integrated-services-routers-isr/datasheet-c78-739512.html
2	Catalyst 8200 シリーズ (Catalyst 8200-1N-4T /8200L-1N-4T)	Catalyst 8200 シリーズ エッジ プラットフォームのデータシート https://www.cisco.com/site/jp/ja/products/networking/sdwan-routers/catalyst-8200-series-platforms/index.html

（２）ハードウェア設置ガイド

表 1-2 ハードウェア設置ガイド

No	ルーター	ハードウェア設置ガイド URL
1	Cisco 1000 シリーズ (Cisco 1121-4P/8P、 Cisco 1121X-8P)	Hardware Installation Guide for the Cisco 1000 Series Integrated Services Router (Cisco 1000 シリーズ サービス統合型ルーターのハードウェア設置ガイド) https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/routers/access/1100/hardware/installation/guide/b-cisco-1100-series-hig.html
2	Catalyst 8200 シリーズ (Catalyst 8200-1N-4T /8200L-1N-4T)	Hardware Installation Guide for Catalyst 8200 Series Edge Platforms (Catalyst 8200 シリーズ エッジ プラットフォームのハードウェア設置ガイド) https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/routers/cloud_edge/c8200/hardware_install/b-cat-8200-series-edge-platforms-hig.html

（３）形名一覧

表 1-3 に Cisco 1000 シリーズバンドル形名一覧、表 1-4 に Cisco 1000 シリーズライセンス形名一覧、表 1-5 に Catalyst 8200 シリーズバンドル形名一覧、表 1-6 に Catalyst 8200 シリーズライセンス形名一覧、表 1-7 にオプション形名一覧を示します。

ハードウェアの構成に関する詳細は構成ガイドを参照ください。

表 1-3 Cisco 1000 シリーズ バンドル形名一覧

No	バンドル形名	品名	備考
1	HN-C1121-4P0	C1121-4P、LAN ポート 1GE×4、WAN ポート 1GE/SFP×1＋1GE×1	
2	HN-C1121-4P1	C1121-4P、LAN ポート 1GE×4、WAN ポート 1GE/SFP×1＋1GE×1、SEC ライセンス	
3	HN-C1121-4P3	C1121-4P、LAN ポート 1GE×4、WAN ポート 1GE/SFP×1＋1GE×1、SEC ライセンス、VPERF ライセンス	
4	HN-C1121-8P0	C1121-8P、LAN ポート 1GE×8、WAN ポート 1GE/SFP×1＋1GE×1	
5	HN-C1121-8P1	C1121-8P、LAN ポート 1GE×8、WAN ポート 1GE/SFP×1＋1GE×1、SEC ライセンス	
6	HN-C1121-8P3	C1121-8P、LAN ポート 1GE×8、WAN ポート 1GE/SFP×1＋1GE×1、SEC ライセンス、VPERF ライセンス	
7	HN-C1121X-8P0	C1121X-8P、LAN ポート 1GE×8、WAN ポート 1GE/SFP×1＋1GE×1	
8	HN-C1121X-8P1	C1121X-8P、LAN ポート 1GE×8、WAN ポート 1GE/SFP×1＋1GE×1、SEC ライセンス	
9	HN-C1121X-8P3	C1121X-8P、LAN ポート 1GE×8、WAN ポート 1GE/SFP×1＋1GE×1、SEC ライセンス、VPERF ライセンス	

表 1-4 Cisco 1000 シリーズライセンス形名一覧

No	ライセンス形名	品名	備考
1	HN-FC11-4DNECT03	C1100-4P、クラウド、Essentials、DNA ライセンス 3 年、帯域幅 25M(集約帯域幅 50M)	
2	HN-FC11-4DNECT05	C1100-4P、クラウド、Essentials、DNA ライセンス 5 年、帯域幅 25M(集約帯域幅 50M)	
3	HN-FC11-4DNECT13	C1100-4P、クラウド、Essentials、DNA ライセンス 3 年、帯域幅 200M(集約帯域幅 400M)	
4	HN-FC11-4DNECT15	C1100-4P、クラウド、Essentials、DNA ライセンス 5 年、帯域幅 200M(集約帯域幅 400M)	
5	HN-FC11-4DNACT07	C1100-4P、クラウド、Advantage、DNA ライセンス 7 年、帯域幅 25M(集約帯域幅 50M)	
6	HN-FC11-4DNACT17	C1100-4P、クラウド、Advantage、DNA ライセンス 7 年、帯域幅 200M(集約帯域幅 400M)	
7	HN-FC11-8HSECSV	C1100-8P HSEC ライセンス	
8	HN-FC11-8DNECT03	C1100-8P、クラウド、Essentials、DNA ライセンス 3 年、帯域幅 25M(集約帯域幅 50M)	
9	HN-FC11-8DNECT05	C1100-8P、クラウド、Essentials、DNA ライセンス 5 年、帯域幅 25M(集約帯域幅 50M)	
10	HN-FC11-8DNECT13	C1100-8P、クラウド、Essentials、DNA ライセンス 3 年、帯域幅 200M(集約帯域幅 400M)	
11	HN-FC11-8DNECT15	C1100-8P、クラウド、Essentials、DNA ライセンス 5 年、帯域幅 200M(集約帯域幅 400M)	
12	HN-FC11-8DNACT07	C1100-8P、クラウド、Advantage、DNA ライセンス 7 年、帯域幅 25M(集約帯域幅 50M)	
13	HN-FC11-8DNACT17	C1100-8P、クラウド、Advantage、DNA ライセンス 7 年、帯域幅 200M(集約帯域幅 400M)	

表 1-5 Catalyst 8200 シリーズ バンドル形名一覧

No	バンドル形名	品名	備考
1	HN-C82-1N4T0	C8200-1N-4T、WAN ポート(1GE×2、SFP×2)	
2	HN-C82-1N4T1	C8200-1N-4T、WAN ポート(1GE×2、SFP×2)、NW モジュール(NIM-ES2-4=)	2025/10/01 販売終了
3	HN-C82-1N4T2	C8200-1N-4T、WAN ポート(1GE×2、SFP×2)、NW モジュール(NIM-ES2-8=)	2025/10/01 販売終了
4	HN-C82L-1N4T0	C8200L-1N-4T、WAN ポート(1GE×2、SFP×2)	

No	バンドル形名	品名	備考
5	HN-C82L-1N4T1	C8200L-1N-4T、WAN ポート(1GE×2、SFP×2)、NW モジュール(NIM-ES2-4=)	2025/10/01 販売終了
6	HN-C82L-1N4T2	C8200L-1N-4T、WAN ポート(1GE×2、SFP×2)、NW モジュール(NIM-ES2-8=)	2025/10/01 販売終了

表 1-6 Catalyst 8200 シリーズライセンス形名一覧

No	ライセンス形名	品名	備考
1	HN-FC82-DNEPT03	C8200-1N-4T、オンプレミス、Essentials、DNA ライセンス 3 年、帯域幅 25M(集約帯域幅 50M)	
2	HN-FC82-DNEPT13	C8200-1N-4T、オンプレミス、Essentials、DNA ライセンス 3 年、帯域幅 200M(集約帯域幅 400M)	
3	HN-FC82-DNEPT23	C8200-1N-4T、オンプレミス、Essentials、DNA ライセンス 3 年、帯域幅 1G(集約帯域幅 2G)	
4	HN-FC82-DNECT03	C8200-1N-4T、クラウド、Essentials、DNA ライセンス 3 年、帯域幅 25M(集約帯域幅 50M)	
5	HN-FC82-DNECT05	C8200-1N-4T、クラウド、Essentials、DNA ライセンス 5 年、帯域幅 25M(集約帯域幅 50M)	
6	HN-FC82-DNECT13	C8200-1N-4T、クラウド、Essentials、DNA ライセンス 3 年、帯域幅 200M(集約帯域幅 400M)	
7	HN-FC82-DNECT15	C8200-1N-4T、クラウド、Essentials、DNA ライセンス 5 年、帯域幅 200M(集約帯域幅 400M)	
8	HN-FC82-DNECT23	C8200-1N-4T、クラウド、Essentials、DNA ライセンス 3 年、帯域幅 1G(集約帯域幅 2G)	
9	HN-FC82-DNECT25	C8200-1N-4T、クラウド、Essentials、DNA ライセンス 5 年、帯域幅 1G(集約帯域幅 2G)	
10	HN-FC82-DNACT07	C8200-1N-4T、クラウド、Advantage、DNA ライセンス 7 年、帯域幅 25M(集約帯域幅 50M)	
11	HN-FC82-DNACT17	C8200-1N-4T、クラウド、Advantage、DNA ライセンス 7 年、帯域幅 200M(集約帯域幅 400M)	
12	HN-FC82-DNACT27	C8200-1N-4T、クラウド、Advantage、DNA ライセンス 7 年、帯域幅 1G(集約帯域幅 2G)	
13	HN-FC82L-DNEPT03	C8200L-1N-4T、オンプレミス、Essentials、DNA ライセンス 3 年、帯域幅 25M(集約帯域幅 50M)	
14	HN-FC82L-DNEPT13	C8200L-1N-4T、オンプレミス、Essentials、DNA ライセンス 3 年、帯域幅 200M(集約帯域幅 400M)	
15	HN-FC82L-DNEPT23	C8200L-1N-4T、オンプレミス、Essentials、DNA ライセンス 3 年、帯域幅 1G(集約帯域幅 2G)	

No	ライセンス形名	品名	備考
16	HN-FC82L-DNECT03	C8200L-1N-4T、クラウド、Essentials、DNA ライセンス 3 年、帯域幅 25M(集約帯域幅 50M)	
17	HN-FC82L-DNECT05	C8200L-1N-4T、クラウド、Essentials、DNA ライセンス 5 年、帯域幅 25M(集約帯域幅 50M)	
18	HN-FC82L-DNECT13	C8200L-1N-4T、クラウド、Essentials、DNA ライセンス 3 年、帯域幅 200M(集約帯域幅 400M)	
19	HN-FC82L-DNECT15	C8200L-1N-4T、クラウド、Essentials、DNA ライセンス 5 年、帯域幅 200M(集約帯域幅 400M)	
20	HN-FC82L-DNECT23	C8200L-1N-4T、クラウド、Essentials、DNA ライセンス 3 年、帯域幅 1G(集約帯域幅 2G)	
21	HN-FC82L-DNECT25	C8200L-1N-4T、クラウド、Essentials、DNA ライセンス 5 年、帯域幅 1G(集約帯域幅 2G)	
22	HN-FC82L-DNACT07	C8200L-1N-4T、クラウド、Advantage、DNA ライセンス 7 年、帯域幅 25M(集約帯域幅 50M)	
23	HN-FC82L-DNACT17	C8200L-1N-4T、クラウド、Advantage、DNA ライセンス 7 年、帯域幅 200M(集約帯域幅 400M)	
24	HN-FC82L-DNACT27	C8200L-1N-4T、クラウド、Advantage、DNA ライセンス 7 年、帯域幅 1G(集約帯域幅 2G)	

表 1-7 オプション形名一覧

No	オプション形名	品名	備考
1	HN-FCACS11-RM219	ACS-1100-RM2-19=、Cisco1000 用ラックマウントキット	
2	HN-FCCB-C13142	CAB-C13-C14-2M=、電源ケーブル(250VAC)	
3	HN-FCGLC-SXMMD	【構成限定】GLC-SX-MMD=、SFP 1000BASE-SX	
4	HN-FCGLC-LHSMD	【構成限定】GLC-LH-SMD=、SFP 1000BASE-LX/LH	
5	HN-FCGLC-TE	【構成限定】GLC-TE=、SFP 1000BASE-T	Catalyst8200 シリーズのみ

2　注意事項

（１）本製品をご利用いただくにあたって『General Terms』に同意したものと見なされます。

【General Terms】

https://www.cisco.com/c/dam/en_us/about/doing_business/legal/cisco-general-terms-translations/Cisco_General_Terms-Japanese.pdf

（２）企業向けネットワーク WAN ルーター（Cisco 1000 シリーズ/Catalyst 8200 シリーズ）の設定が完了するまでは、WAN および LAN に接続しないでください。ネットワークに悪影響を及ぼす場合があります。

（３）コンフィグレーションのバックアップは必ずお取りください。バックアップがないと保守交換時にコンフィグレーションのリストアができません。

（４）販売時および装置使用時の制限事項の考え方

① 本製品は、顧客固有のネットワーク設計（トポロジ、機能、設定値）に対して設定・構築の容易化を支援するサービスにより、安価に提供することを目的としています。このため、「機器」＋「設定」＋「搬入」＋「保守」＋「サポート」をセット販売とし単品での販売はできません。

② 次の利用が見込まれる場合は、従来の SI/NI を含めたネットワーク設計、導入、保守が必要となりますので、販売支援の部門へご相談をお願いします。

A)　既設ネットワークの一部に本製品を構成する単品を組み込むことはできません。また、他ネットワークシステムとの接続の場合も本製品で想定されていないネットワーク設計の変更はできません。

B)　SI/NI が必要なミッションクリティカルなシステムのネットワークには適しません。

（５）ラック搭載のネジについて

①HA8000/HA8000V/HA8500 ラックに搭載する場合は次のネジキットの準備をお願いします。

・GH-AR7901(HA8000V ラック用ケージナットと M6 ネジ)

②EP8000 ラックに搭載する場合は次のネジキットの準備をお願いします。

・THE-7014-KIT5(EP8000 ラック用プレートと M5 ネジ)

（６）ラック搭載上の注意

①ラックにルーターを搭載する場合は、ルーターの保守作業および通気口の妨げにならないために「表 2-1 スペース確保要件」に記載されているスペースを確保する必要があります。

表 2-1 スペース確保要件

項目	要件
Cisco 1000 シリーズ	ルーターの上側に 1U の保守作業スペースを空けて搭載してください。換気許容部の周囲に 44mm 以上の空間を確保してください。
Catalyst 8200 シリーズ	ルーターの上側に 1U の保守作業スペースを空けて搭載してください。

②ラックにルーターを搭載する場合は、ラックに搭載したほかの機器のエアーフローの影響を考慮して、ルーターの吸気温度（Cisco 1000 シリーズ/Catalyst 8200 シリーズ：40℃）を超えないようにしてください。

表 2-2 ルーター本体のエアーフロー

No	ルーター	吸気面	排気面
1	Cisco 1000 シリーズ	ファンレス	ファンレス
2	Catalyst 8200 シリーズ	前面	背面

③HA8000/HA8000V/HA8500 ラック、EP8000 ラックのフロント扉側に正面向きにルーターを搭載する場合、フロント扉を閉めることで、通気用のスペースやケーブル曲げ半径の確保が難しいため、フロント扉を使用しないでください。
フロント扉を使用するには、ラックの背面側にポートを背面に向けてルーターを搭載してください。

④保守サポートへの問い合わせ時には、日立形名と日立製番の情報が必要となります。これらの情報は、機器の上側にある銘板に記載されています。ラック搭載状態によっては、ルーターの上側が見えない場合もあります。そのため、お客様にて管理台帳などを準備して、日立形名、日立製番、およびラックの搭載位置などを管理してください。これにより、保守サポートへの問い合わせがスムーズにできます。

（７）IOS の脆弱性について

①日々の運用

脆弱性に関する情報は Cisco セキュリティアドバイザリに公開されます。
お客様にて当該サイトから定期的に脆弱性情報を収集し、導入製品への影響確認と利用形態に応じた回避策の適用をお願いします。
対策版 IOS の適用が必要となる場合は、サポート 360 経由でのご提供となります。
ご不明な点がある場合は、サポート 360 にお問い合わせください。
・Cisco セキュリティアドバイザリ
https://www.cisco.com/c/ja_jp/support/docs/csa/psirt-index.html

②サポート 360 からの情報発信

ルーターの IOS で重大な脆弱性が発生した場合、サポート 360 でお知らせします。

■通知内容
・対象形名/対象バージョン/対象機能などの情報
・回避策
・対策版バージョンのメディア提供

■脆弱性への対応
通知内容を確認していただき、お客様にて脆弱性該当有無の確認をお願いします。
該当する場合は、お客様にて回避策の適用、または対策版バージョンの適用をお願いします。

また、代行作業を当社にて実施する場合は有償となります。
依頼する場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

（８）IOS 新バージョンの通知について

出荷する IOS バージョンが変更された場合、サポート 360 でお知らせします。

■通知内容

・対象形名/新バージョンなどの情報
・新バージョンの不具合対策情報
・新バージョンのメディア提供

■対応

通知内容を確認していただき、お客様にて適用要否の判断をお願いします。
適用する場合は、お客様にて新バージョンの適用をお願いします。
また、代行作業を当社にて実施する場合は有償となります。
依頼する場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

お問い合わせ先

ここでは、ご質問や不具合の内容に応じたお問い合わせ先をご案内しています。

□操作や使いこなしについて

本製品のハードウェアの機能や操作方法に関するお問い合わせは、HCA センター（Hitachi カスタマ・アンサ・センター）でご回答いたしますので、次のフリーダイヤルにおかけください。受付担当がお問い合わせ内容を承り、専門エンジニアが折り返し電話でお答えするコールバック方式をとらせていただきます。

HCA センター（Hitachi カスタマ・アンサ・センター）

0120-2580-91

受付時間
9：00 ～ 12：00、13:00 ～ 17:00（土・日・祝日、年末年始、夏期休暇など当社指定休日を除く）

お願い

■ お問い合わせになる際に次の内容をメモし、お伝えください。お問い合わせ内容の確認をスムーズにおこなうため、ご協力をお願いいたします。

形名（TYPE）／製造番号（S/N）／インストール IOS

「形名」および「製造番号」は、装置上面に貼り付けられている機器ラベルにてご確認ください。

■ 質問内容を FAX でお送りいただくこともありますので、ご協力をお願いいたします。

■ HCA センターでお答えできるのは、製品のハードウェアの機能や操作方法などです。ハードウェアや IOS に関する技術支援は除きます。
ハードウェアや IOS の技術的なお問い合わせについては有償サポートサービスにて承ります。
→「技術支援サービスについて」

■ 明らかにハードウェア障害と思われる場合は、販売会社または保守会社にご連絡ください。

□欠品・初期不良・故障について

本製品の納入時の欠品や初期不良および修理に関するお問い合わせは日立コールセンタにご連絡ください。

日立コールセンタ

0120-921-789

受付時間

9:00 ～ 18:00（土・日・祝日、年末年始、夏期休暇など当社指定休日を除く）

お願い

■お電話の際には、製品同梱の保証書をご用意ください。

□ハードウェア障害について

本装置に深刻なエラーが発生したときは、お買い求め先の販売会社または、ご契約の保守会社にご連絡ください。

技術支援サービスをご契約のお客様は、総合サポートサービス「日立サポート 360」の窓口へご連絡ください。
日立サポート 360 をご利用できない場合は、日立システムズ　コールセンタにご連絡ください。

日立システムズ　コールセンタ

0120-147-009

受付時間

24 時間　365 日

□技術支援サービスについて

ハードウェアやソフトウェアの技術的なお問い合わせについては、「技術支援サービス」による有償サポートとなります。

日立サポート 360 との連携によるワンストップ対応

日立サポート 360 との連携によるワンストップ対応では「問題解決の支援」をご提供いたします。
詳細は次の URL で紹介しています。

■ホームページアドレス
http://www.hitachi.co.jp/soft/support360/

インストールや運用時のお問い合わせや問題解決など、システムの円滑な運用のために日立サポート 360 連携サービスは必ずご契約ください。

企業向けネットワーク WAN ルーター
（Cisco 1000/Cisco Catalyst 8200）

ユーザーズガイド

第 6 版　2025 年 10 月

無断転載を禁止します。

株式会社 日立製作所

〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 6 号